



あじさい

vol.50
2025日本プライマリ・ケア連合学会
第37回近畿地方会

紀北分院外来診療医担当表

		月		火		水		木		金	
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
総合診療	2診		総合診療 廣西	呼吸器 中西	総合診療(循環器) 羽野	総合診療 廣西	血液・呼吸器・感染・総合診療 田村	総合診療(循環器) 羽野			
	3診	糖尿外来 河井		糖尿外来 河井		リウマチ・膠原病 田中(第1・3・5週) 泌尿器外来 倉本(第2・4週)	肝臓 佐藤 ※再診のみ			消化器 川口	
	4診		皮膚科 神人(第1・3・5週) 田端(第2・4週)	脳神経内科 梶本		脳神経内科 梶本		循環器 中井	皮膚科 西山(第1・5週) 野田(第2・3週) 木村(第4・6週)	認知症センター 梶本	
	新患5診	青木		川口		応援医師		野田		中井	
	外科診								櫻井 【第3週を除く】		
脳外	6診										
整形外科	7診	整形外科 前田		整形外科 中川	足の専門外来 浅井(奇数週)	整形外科 太地		整形外科 佐々木		整形外科 中川	
	8診	整形外科 南野		整形外科 佐々木		整形外科 南野		整形外科 太地		整形外科 前田	
眼科	1診	中田		岡田	安田 岩西 西 (第1週) (第2週) (第3週) 鎌賀 鈴木 (第4週)	中田	子ども外来 石川	小門	応援医師	岡田	術前外来
	2診			黄斑外来 小門	応援医師			中田		小門	
小児科		青柳		樋口		青柳		青柳		青柳	
リハビリテーション科		岡本		岡本		天ヶ瀬		天ヶ瀬		天ヶ瀬	
		天ヶ瀬		天ヶ瀬							

診察受付 月曜日～金曜日：8時45分～ 再診で予約のある方は指定時間（予約表の記載時間）

*当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。

紀北分院 予約センター（受付時間 8時45分～15時）

Tel 0736-22-4600

紀北分院 認知症疾患医療センター 診療予約・介護相談（受付時間 9時～17時）

Tel 0736-26-3004

※最新の情報は紀北分院ホームページ
にも記載しています。

2025年3月10日現在

「かるて師匠の健康高座」

紀子：先生、お金って不思議だと思いませんか？金属の塊や紙切れが、いろいろな品物と交換できるって、誰も疑いもしないなんてすごいですよね。

可流亭：アメリカのシカゴ大学でやった実験で、サルにトークンといういわばお金を渡して、リンゴとかブドウと交換してみたんだって。

紀子：サルにお金が使えるかってことですね。興味津々です。

可流亭：サルはすぐトークン（お金）の意味を悟って、自分の好きな食べ物の列に並んだそうだよ。でも実験してた人があるサルだけにはキュウリだけを渡すようにしたら、サルはキュウリよりリンゴとかブドウの方がいいみたいで、キュウリをもらってもちょっと不満そうな表情だったらしい。

紀子：私だってキュウリよりブドウがいいな。

可流亭：しばらくキュウリばかり渡していたら、ついにそのサルはキュウリを投げつけて行動もおかしくなっちゃったらしい。

紀子：つまり、他のサルと自分を比較してしまってたのね。

可流亭：そう。人間もそうなんだけど、自分の状況を何かと比較して、差があるとドーパミンという物質が頭の中に出て、もっと変えたい、もっと何か欲しいと思ってしまふみたいなんだね。サルはブドウが欲しいと思った

り、人間だったら出世とか収入とか、買い物とか、企業だったら営業成績とか、動物は「もっと、もっと」が運命づけられているみたいなんだよ。

紀子：それって頑張るエネルギーにもなるけど、少し間違えると苦しくなりそうですね。

可流亭：お釈迦様はこのドーパミンの働きを「苦」とか「デュッ力」といって人間の不幸の元だとおっしゃってる。そして、瞑想をするとドーパミンの働きが平穏に調整されることが脳の研究でわかっているんだよ。

紀子：瞑想で、足を組んで何時間も座らないといけないんでしょう？

可流亭：いやいや、椅子に座ってもいいし、気楽に目を閉じて深呼吸するだけでも瞑想の効果があるよ。YouTubeで「和歌山医大 瞑想」で検索すると簡単な瞑想のやり方を説明した動画が出てきます。

紀子：瞑想は人間の苦しみに効くってことですね。毎日嫌なニュースがたくさんあるけど、世界中で瞑想したら平和になるかもしれないですね。

*ながらくお世話になりました「かるて師匠の健康高座」ですが、都合により今回をもって終了となります。長い間ありがとうございました。

内科教授 廣西昌也



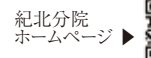
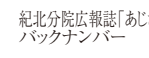
【お知らせ】

・紀北分院広報誌「あじさい」は春夏秋冬の年4回発行します。

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院
分院長 岡田 由香

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219

TEL/0736-22-0066 (代) FAX/0736-22-2579

紀北分院
ホームページ▶紀北分院広報誌「あじさい」
バックナンバー▶

ホームページURL▶http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html

2025年3月発行



■ 認知症疾患医療センターのご案内



- 物忘れが気になる
- 認知症かもしれない
- 認知症に効果のある薬について聞きたい
- 最近意欲が無くなってきた

- 精神的に不安定になってきた
- 家族が介護する中で困っていることがある
- 認知症の治療を行う病院の情報が欲しい

認知症に関する受診や相談を
受けています

希望される方はまずお電話ください

相談専用
ダイヤル 0736-26-3004

【受付時間】 平日：9時00分～17時00分

【掲載内容】

- 日本プライマリ・ケア連合学会第37回近畿地方会
- 認知症疾患医療センターのご案内
- 日本プライマリ・ケア連合学会第37回近畿地方会において副優秀演題賞を受賞
- 「第22回和歌山 MIOS フォーラム」において最優秀発表賞を受賞
- 救急の日
- 災害訓練
- 紀北分院クリスマス会2024
- 外来診療医担当表
- かるて師匠の健康高座



■ 日本プライマリ・ケア連合学会 第37回近畿地方会

2024年11月17日に、紀北分院の主催で第37回日本プライマリ・ケア連合学会近畿地方会を和歌山市の和歌山城ホールで開催しました。この学会は地域医療に携わる関係者が新しい情報や取り組みを持ち寄り、地域医療をよりよく発展させるために毎年開かれております。この学会の特徴は、参加者が医師だけでなく、薬剤師、看護師、リハビリ関係者や介護・福祉職など、いわゆる多職種の方々が参加することです。それぞれの立場で医療・看護・介護・福祉を総合的に取り組んでいこうという趣旨にのっとり、参加者が活発な討論を行う学会です。

当日は当院内科教授である廣西医師が、「BPSモデルとインテグラル理論」というタイトルで会長講演を行い、医療を行っていくにあたって、①「個人の思い」、②「仲間や家族の思い」、③「科学技術の進歩や応用」、そして④「システムや制度」という四つの方面から包括的、俯瞰的に行う必要性を述べ、立場や職種、考え方の違いを乗り越えていく上での考え方やヒントをお話しました。また飛騨千光寺長老である大下大圓師が「プライマリ・ケアにおけるスピリチュアルケア」という講演を行い、「医療における『こころ』への取り組みについて理解が深まった」、「スピリチュアルケアの重要性が理解できた」など、多くの方に賛辞の言葉をいただきました。また当院でも定期的に行っている「ゆるめる瞑想会」を学会会場でも開催し、浅田祐祐子先生のご指導で普段頑張って疲れの溜まっている方々にひとときのおだやかな時間を共有していただき、非常に喜んでいただくことができました。

学会では超音波検査や、コーチングというコミュニケーションのセミナーも行われ、受付がオーバーするほど好評をいただきました。また近畿地方のさまざまな施設からの発表も五十五題とたいへんたくさんの応募をいただきましたが、そのなかで、当院看護部の小林政雄看護師による、「緩和ケアチームと宗教者の協働と成果について」の発表が、優秀な演題として優秀演題選考委員会から表彰され、看護部の日頃の取り組みが認められたこともたいへん嬉しいことでした。

この学会は分院の多くの部門のスタッフが力を合わせましたが、県内の多くの郡市医師会や施設からも暖かい援助をいただき、今後さらに高齢化がすすむなかで、医療関係者が広く協力しながら医療に関する情報交換をしていくために、いい学会を開催できたと感じております。



日本プライマリ・ケア連合学会
第37回近畿地方会
副優秀演題賞 受賞
看護師 小林 政雄



■ 「第22回和歌山 MIOS フォーラム」において最優秀発表賞を受賞

当院の整形外科 太地良医師が「第22回和歌山MIOSフォーラム」において最優秀発表賞を受賞しました。

演題：骨粗鬆症椎体骨折に対するBKPの椎体復元の意義

紀北分院では骨粗鬆症を基盤として生じる椎体骨折（圧迫骨折）には経皮的椎体形成術（バルーンカイフォプラスティ：BKP）を積極的に行っています。本術式は手術時間が30分と短く、出血、侵襲がほとんどない上に疼痛除去効果は劇的であり、寝たきりを回避できると多くの患者さんに喜ばれています。



■ 救急の日

救急の日である9月9日を含む1週間は、救急医療週間と制定されています。伊都消防署において、その期間に当院の医療者が救急車に同乗（一日救急隊員）させていただいております。救急救命士の方が、救急現場に到着後直ちに傷病者の状態を確認・必要な応急処置を実施し、速やかに医療機関へ搬送してくれます。

医療機関到着後、病院スタッフが必要な検査・治療を行い、救急救命士と医療機関で命を繋いでいます。救急救命士と医療機関が連携し、住民の健康と生活を守ることができるよう努めています。



■ 災害訓練

2024年11月23日に橋本災害医療フォーラムとして橋本医療圏内の橋本保健所、橋本市民病院、紀和病院、当院他が参加する災害訓練が実施されました。今回の訓練は能登半島地震の事例を参考として、南海トラフ地震の発災1週間後を想定し実施されました。

写真は、紀北分院での訓練風景です。岡田分院長を災害対策本部長とした災害本部と机上で想定した病棟との搬送状況確認を行っている場面です。



■ 紀北分院クリスマス会2024

